



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 杉本 峰康 ■幹事■ 酒井 秀大 ■会報委員長■ 石井 慎一
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2019-20年度

第2699回

2019年11月29日(金)点鐘12:30 <晴れ>

- ◆ロータリーソング『R-O-T-A-R-Y』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

本日のゲストスピーカー／麻雀力 小倉 勇一様

◆会長挨拶及び報告 五十嵐 博章直前会長



来週12月6, 7, 8日の3日間で、これまで杉本会長、酒井幹事を中心に議論を尽くしてきました、台湾の高雄博愛ロータリークラブとの姉妹クラブ締結に、クラブを代表して16名ほどの会員で行って参ります。

ロータリークラブといえ、会員同士の親睦を深め、自己啓発を進めながら、自分の職業を生かして地域に奉仕していくことを目指している世界規模の奉仕団体でございます。

今回の姉妹締結において望むことはクラブの活性化、毎年交互に訪問し合い、国際親善と国際理解を深め、グローバル補助金等を活用した共同事業ができるようになればいいのではないかなど、そのように考えております。大きな心を、大きな志を胸に、しっかりと役目を務めていきたいと思っております。

さて、今日はロータリーの職業人としての道德律というものがございます、今日は第3条をみなさまがたにご紹介したいと、そのように思っております。

それは、自分が経営者であるが故、成功したいと大志を抱いていることを自覚するということです。

しかし、自分は道德を重んじる人間であり、最高の正義と道德に基づかない成功は、まったく望まないことであ

るということを実感することが大切であると言われております。

これを解説いたしますと、ロータリーの職業奉仕は資本主義社会の悪い側面である過酷な自由競争による地に墜ちた商道德に対する社会改良運動として発展しました。当時は、法さえ犯さなければいかなる手段を取ろうとも金をもうけた者が成功者としてもはやされた時代でもありました。公費は誇大や虚偽が当たり前、騙すより騙される方が悪いという風潮でした。商売人という言葉は詐欺師と同意語であったとさえ言われていました。

こういう周囲の中で、降って沸いたような大もうけのビジネス・チャンスであっても、それが正義と道德に基づかない商行為であるならば、あえてその取引を排除することを促したものであり、当時としては画期的な考えであったとも言えます。

そのような時代背景の中でシェルドンはビジネスを科学としてとらえ、正しい方法で事業を営むことが、結果的に適正な利益をあげて、継続的に事業を繁栄させることができると説き、その基本原則として He profits most who serves best というモットーを發表しました。

このモットーで述べている Profits という言葉は利益そのものであったと考えられます。そうでなければ当時の企業経営者が、こぞってロータリー運動に参加するわけではないからです。ただし、適正で継続的な Profits を得ようと思えば、従来の商慣行から決別してロータリーの職業奉仕理念に従った正しく科学的な経営方針を採用しなければなりません。そして、その方法によって事業を営めば、最高の正義と道德に基づきつつ、必ずその目的が達成できるのです、ということでありました。

皆さん企業経営者でございますから当然事業拡大していく中で奉仕の心というか、そういったものを実践していく必要があるのではないかなどそのように考えている今日この頃であります。

◆委員会報告

<<ポール・ハリスフェロー記念品伝達>>

松尾 博之
会員





◆幹事報告 代・廻 辰一郎会長エレクト

次週12月6日(金)の例会は、台湾高雄博愛ロータリークラブ訪問へ変更となっていますので、オークラ千葉ホテルでの例会はありません。

◆ニコニコボックス報告

＜杉本 峰康会長、酒井 秀大幹事＞

本日は、会長・幹事がどうしても都合が悪く欠席となります。大変申し訳ありません。二人でしめし合わせたわけではないです……。例会は、五十嵐直前会長にお願いしております。五十嵐直前会長、宜しくお願い致します。

＜五十嵐 博章会員＞

会社を創業して一つの目標でありました、調剤薬局10号店を12月1日に稲毛区園生町にオープン致します。これまで様々な方々に支えられてきたことを感謝しつつ、初心を忘れずにこれからも事業拡大と奉仕の実践をしていく所存です。

＜出井 清会員＞

先週、「シャバ」に戻りました。今後ともよろしく願い致します。

＜CSRゴルフ会参加者＞

11月8日のCSRゴルフ会で残金が出ましたので、ニコニコへ。



演 題⇒「健康麻雀のススメ」
卓話者⇒麻雀 力(りき) 小倉勇一様



初めまして。私は若葉区のJR都賀駅前で「麻雀力」という麻雀店を運営している小倉と申します。本日は「健康麻雀のススメ」というテーマで講演させていただきます。

1. 麻雀とは

4人のプレイヤーがテーブルを囲み、34種類136枚の牌を使い、手役を揃えることを数回行い得点を重ねていくゲームです。勝敗はゲーム終了時に持っている点数により順位が決定します。

2. 麻雀の歴史

発祥は中国で、アメリカ合衆国など世界各国で親しまれています。現在の日本では、家庭や麻雀店のほか、ゲームセンターや家庭用コンピューターゲーム、スマートフォンなどのオンラインゲームでプレイすることができます。

19世紀後半に、陳魚門という人が、カードゲーム「マーチャオ」と「骨牌」を組み合わせて完成させたのが麻雀の起源とされています。

語源は、麻布の上で行ったことと、竹製の牌を混ぜる時の音が雀の鳴き声に似ていることから付けられたとされます。

日本に初めて麻雀を紹介したのは夏目漱石だと言われています。

中国が鎖国状態を解消し始め、港町の寧波に世界中の人々が訪れ、欧米やアジアなど、麻雀は様々な国の人々に伝えられました。

ジョセフ・P・バブコックが1919年に欧米に向け麻雀牌の輸出を始めたのがきっかけで、1920年代に麻雀は世界各地で大流行をします。これが第一次麻雀ブームといわれているものです。

太平洋戦争が始まり、日中関係が悪化。敵国の遊技である麻雀は一気に衰退していきます。その代わり戦後広まったのが、進駐軍の米兵によって改良されたアメリカ式の新しい麻雀でした。それは立直とかドラとか七対子、緑一色とかはこの時にできたものといわれています。

その後、週刊大衆にて「麻雀放浪記」の連載や、麻雀専門誌「近代麻雀」の発行のほか、メディアでも麻雀が取り上げられて大好評となります。これが第二次麻雀ブームと呼ばれるものです。

本日のニコニコボックス	24,530 円	累計	158399 円
金の箱	738 円	累計	4,278 円
ポリオ・プラス	0 円	累計	0 円

◆出席報告 (会員数47名)

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#)に[ご利用下さい](#)。

出席者数	欠席者数	ピンター	11/15	修正出席率
27名	20名	1名		100 %

3. 健康麻雀とは

第二次麻雀ブームでは、夜を徹して麻雀に興じる学生やサラリーマンが多発します。さらに、1980年代に発明された麻雀コンピューターゲームが大ヒットしますが、内容が「脱衣麻雀」というものであったため、「麻雀＝不健全」というイメージが広がります。

1988年、麻雀の「賭けない・飲まない・吸わない」を提唱する「日本健康麻雀協会」が設立されました。「健康麻雀」というのは「賭けない・飲まない・吸わない」という麻雀のことです。

4. オンライン麻雀ゲームの普及

1997年、オンライン麻雀の「東風荘」がサービスを開始。2002年にはゲームセンターで遊べるオンライン麻雀の「四人打ち麻雀MJ」と「麻雀格闘倶楽部」が誕生します。現在では、スマートフォンのアプリにも多くのオンライン麻雀ゲームが存在し気軽に麻雀を楽しめるようになりました。

5. 純粋なゲームとしての魅力

健康麻雀とオンライン麻雀の普及で健康的に純粋にゲームとして麻雀を楽しむ人の割合が増加しました。

麻雀の魅力は、ゲーム自体の面白さはもちろん、ある程度の実力差があっても楽しめるというところにもあります。運によって左右されるゲームであるため、時には素人がプロに勝つことさえあります。これは以後や将棋、またはスポーツなどではなかなか考えられないことであります。残念ながら、以前はその運要素がギャンブルに繋がってしまいましたが、幅広くいろいろなレベルの人や老若男女を問わず一緒に遊べるゲームとして見れば、とても魅力的なゲームといえます。もちろん、運は一要素に過ぎず、駆け引きや戦略が麻雀の醍醐味です。麻雀は、その技術的などところと運要素のバランスが最大の魅力であります。

6. 健康麻雀の効果（医学的根拠）

「頭を使う」「手先を使う」「人と会話する」この3つの機会が多い人ほど認知症になりにくいと言われていますが、麻雀はその要素を満たしています。日本健康麻雀協会では、これを科学的に実証すべく、2007年から2年をかけて「麻雀が脳活動に及ぼす影響調査」を実施。検証実験調査・研究を諏訪東京理科大学教授で脳科学者の篠原菊紀氏に委託しました。

麻雀中の高齢者の脳内血流の変化を調べると、特に記憶をつかさどり、知的活動の中核となる前頭葉での血流が増加しました。また、他人の気持ちを推し量ることに関わる側頭頭頂接合部という箇所の活動も活発化しました。

麻雀をしている高齢者の脳年齢は実年齢より3歳若かったといえます。同時に、パソコンで麻雀ゲームをしている人の脳活動も調べましたが、こちらは側頭頭頂接合部の活動に変化はありませんでした。やはり、生身の人間を相手にしないと効果は薄いと

いうことようです。

現在老人ホームでは、囲碁・将棋・パソコン・カラオケのほか、麻雀を取り入れているところが増えています。

7. ねりんピック（全国健康福祉祭）

ねりんピック、全国健康福祉祭と呼ばれるものがあるのですが、その目的はスポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康維持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、厚生省創立50周年に当たる1988年から毎年開催しています。

主催は厚生労働省、地方自治体、共催はスポーツ庁です。種目の中に麻雀とありますが、正式種目になっています。

8. 麻雀プロリーグ～Mリーグ～

麻雀プロリーグ～Mリーグ～ですが、Mリーグは競技麻雀のチーム対抗戦のプロリーグです。麻雀のプロスポーツ化を目的都市、2018年7月に発足しました。初代チェアマンにサイバーエージェント社長の藤田晋氏、最高顧問にJリーグ初代チェアマンの川淵三郎氏が就任しました。大和証券、朝日新聞等大手企業がスポンサーになっています。

9. 2022年北京冬季オリンピック

北京オリンピックに「麻雀」が室内競技として国際オリンピック委員会（IOC）に申請中です。冬季オリンピックは、4年に一度、冬季に行われるスキー・スケートを主としたスポーツの祭典です。2022年から麻雀がオリンピックに採用されるかもしれません。

2017年4月、競技麻雀は「国際マインドスポーツ」に認定され、国際麻雀連盟が国際マインドスポーツ協会（IMSA）の正会員になることが決定されました。マインドスポーツとは頭脳スポーツとも呼ばれ、高い思考能力を用いて競われるゲームを一種のスポーツとすることです。

競技麻雀は、ブリッジ・チェス・囲碁などに続いて6つ目の国際マインドスポーツに認定されたことにより、麻雀がオリンピック競技になる動きが現実的になりました。

IMSAの創始者で、名誉主席を務める Jose Damiami 氏は取材の中で「競技麻雀がIMSA認定のマインドスポーツ種目になったことで、国際マインドスポーツの発展に新たなチャンスがもたらされるだろう。私たちは、公平・開放・包容・継承・発展の理念に基づき、国際麻雀の規範化・競技化・スポーツ化発展を積極的に推し進めていく。」と考えを表明しました。

オリンピック競技になることで、麻雀の国際的普及、国際ルール認知度向上やマインドスポーツによるイメージ向上、そして何より麻雀を楽しむ人々が増えることに期待が高まります。

10. イオングループの麻雀業界への参入

2017年11月13日、「日本プロ麻雀連盟」とイオン株式会社の子会社である「イオンファンタジー」が、健康麻雀の普及に向け、業務提携を結びました。イオンファンタジーは、主に児童向け遊戯施設を運営する企業ですが、シニア向けにも事業展開を行っています。

イオングループは、高齢者向けの「朝活」の一環として健康麻雀の普及活動を行っており、一部の店舗で無料参加できる体操や囲碁、将棋、麻雀などのサービスを行い、売り上げを伸ばすことに成功しています。

11. 麻雀の競技人口・年齢層の推移

麻雀人口ですが、資料の左から、年、全年代、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代となっています。

オンライン麻雀の普及により参加人口は減少しているように見えますが、オンライン麻雀会員数も含めて考えると、実際には、麻雀をしている人口は増加していると考えられます。また、Mリーグの発足により、リアル麻雀への参加人口も去年から上がってきています。

このように麻雀業界や大手企業の努力によって「麻雀＝不健全」というイメージが徐々に払拭されつつあります。現在「将来の夢はMリーガー」と答え、麻雀教室に通う小・中学生もたくさんいます。

12. 麻雀力(りき)

当店も、開業時から「健康麻雀」を取り入れています。売上増を目指すため、同業者の意見を聞いたり、インターネットで調べたりしてきた結果、「健康麻雀」に力を入れるべきだという結論に達しました。昨年末からリニューアルに向けて構想を練り、4月にリニューアルしたのですが、他店との差別化を図り、10項目くらい変更しました。

(1) フリー形式

フリー形式を取り入れまして、事前予約制から、お一人でもいつ来ても遊戯可能なシステムに変更しました。対戦相手が毎回変わるため、交流関係の拡大やレベルアップに繋がります。短時間のみでも遊戯可能です。

(2) 料金設定

料金設定としましては、市内最安を目指し、無駄を省き、NPO法人の健康麻雀店よりも安く遊べる料金設定にしました。

(3) パスポート

常連のお客様にこそお得に遊んでもらいたいという気持ちから1ヶ月遊び放題のパスポートを販売しています。おそらく、千葉県内でほかにパスポート制を実施している麻雀店はなく、毎日使えるものからお客様の都合に合わせて曜日を指定できるものまで数種類をご用意しております。

(4) 段位制、ポイントレースの実施。

各々の目標、競争を明確にするために月間ポイントレースを行っております。また、その成績に

応じて段位が獲得できるシステムになっています。

(5) 高いレベルを目指して

高いレベルを目指して、健康麻雀店では、自分中心のアガリ重視スタイルの人が多いたりますが、麻雀は4人で行うゲームであり、相手の手役を読むことも需要です。当店では相手との点差や常用に応じた打ち方を変えることを推奨していて、より脳を活性化できると考えています。

(6) 赤ドラ入りルールの採用

赤ドラ入りルールを採用しています。近代の麻雀では主流のMリーグでも採用されているルールですが、健康麻雀店ではまだ採用しているところは少ないようですが、当店は採用することにしました。

(7) 麻雀大会

麻雀大会は点数のみで競われるルールのものが多いですが、当店では、点数に加えて着順ポイントをつけ、毎回の着順も意識してもらっています。

(8) 麻雀教室

初心者から上級者まで、受講者のレベルとそれぞれの目標に応じた他店よりも分かりやすく、ハイレベルなものまでご用意しております。また、お一人様からでもご都合に合わせて受講可能です。

(9) 温泉麻雀旅行

お客様同士やスタッフとの親睦を深める目的で開催しています。家族同伴でも、麻雀をされない人でも楽しめる内容で好評いただきました。

(10) ブログ

Amebaブログやジモティーなどにお知らせやイベント情報を投稿しています。

13. 最後に

健康麻雀は老後の趣味としてオススメです。年齢関係なく今からでも始められますので、この講演で興味を持たれた方は、是非参加してみてください。また、お知り合いにも是非勧めてみてください。その際は、当店をよろしく願います。ご清聴ありがとうございました。



第2700回例会

《台湾高雄博愛RC訪問例会》

日時⇒ 2019年12月6日(金)

会場⇒ 台湾高雄林皇宮

第2701回例会

《会員増強オープン例会》

日時⇒ 2019年12月13日(金)

卓話⇒ 「おらがむらのオーケストラ」

千葉交響楽団 監督(指揮者)山下一史様

会報担当：石井 慎一